

新規科学技術のELSI／RRIに関わる 総合的研究とハブ機能の構築

1. 研究の先にある新たな未来とは？

新規科学技術には未知の部分が多いため、初期の段階では、その安全性やリスクを判断することがとても難しいという特徴があります。大きな事故や公害、深刻な人権侵害などが起こってから規制を強化するのではなく、新規技術の萌芽段階からELSIを検討し、社会と科学技術とがベストなバランスで共存できるよう、学術的な基盤を提供したいと考えています。



2. どんな研究をしている？

新規の科学技術の導入が、これまでの社会、経済、文化、倫理観・生命観などに対して与える影響（ELSIといいます）を予測・分析し、専門である法学・政治学を中心に、多角的な視点から課題解決のあり方を模索しています。対象とする技術としては、生成AI、デジタル化、気象介入、脱炭素、生殖医療、終末期医療などがあります。

3. その研究をしようと思ったきっかけは？

2021年から、台風制御という新規技術のELSIを検討するため、気象学の研究グループに参加しています。その経験を通じて、人文・社会科学系の研究者が新規技術の研究開発プロジェクトと一体になって研究を進めるためには、多分野にわたる多くの実践例（好例・失敗例）を共有し、方法論を確立することが必要だと感じたことがきっかけです。

ELSI研究拠点

拠点長：笹岡 愛美（国際社会科学研究院）



詳細はこちら



いいね！を貼ろう